

# 平成 26 年度 社会資本総合整備計画 事後評価概要調書

計画とりまとめ課	まちづくり局 市街地開発部 市街地整備推進課	要素事業所管課	まちづくり局市街地開発部市街地整備推進課 建設緑政局緑政部みどりの保全整備課 建設緑政局道路河川整備部道路整備課 建設緑政局道路河川整備部道路施設課 経済労働局次世代産業推進室 幸区まちづくり推進部企画課
----------	------------------------------	---------	---

## 1 計画の概要

計画の名称	新川崎駅周辺地区市街地の活性化	計画の期間	平成22年度～平成26年度
計画の目標	<p>【大目標】創造、活力、ゆとり、安心の融合を特色とする都市拠点の形成を図る。</p> <p>【目標1】「ものづくり」と「創造のもり」を一層発展させるため、研究開発機能の集積を図り、併せて快適な事業環境を提供する。</p> <p>【目標2】「緑を中心とした憩い」「防災」「研究開発と交流・学び」などの市民利用機能の強化を図る。</p> <p>【目標3】新たな活動やライフスタイルの創出に寄与する都市基盤とし、居住環境の向上を図る。</p>		
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新川崎駅の乗降客数を65,000人/日(H26)に増加させる。</li> <li>・新川崎駅等への歩行環境の満足度を70%以上(H26)とする。</li> <li>・新川崎駅周辺の自転車収容台数に対する放置自転車台数の割合を3%(H26)に改善させる。</li> </ul>		
計画変更を行った場合、変更内容の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会資本整備総合交付金の創設により社会資本総合整備計画を策定し、新川崎地区都市再生整備計画事業及び鹿島田駅西部地区第一種市街地再開発事業を基幹事業に、産学官共同研究施設整備事業を効果促進事業に位置付けた。</li> <li>・新川崎地区都市再生整備計画事業について、事業内容が具体化し地元の方々との合意形成が図られたため、公園等の整備事業を追加した。</li> <li>・一部の事業において、工事期間の延伸等による事業期間の変更、事業費の精査による事業費の変更を行った。</li> </ul>		

## 2 社会資本整備総合交付金を充てた要素事業の進捗状況(概要)

事業の区分	主な事業名	計画事業費		執行額(千円) (評価時)	進捗率 (%)	事業進捗状況の概要
		当初(千円)	評価時(千円)			
A (基幹事業)	新川崎地区都市再生整備計画事業	3,095,000	3,372,000	3,372,000	100%	平成26年度末完了予定
	鹿島田駅西部地区第一種市街地再開発事業	5,637,000	4,978,000	4,978,000	100%	平成26年度末完了予定
B (関連社会資本整備事業)	-	-	-	-	-	-
C (効果促進事業)	産学官共同研究施設整備	1,888,000	1,660,000	1,660,000	100%	完了済み
全体事業費(A+B+C)		10,620,000	10,010,000	10,010,000 【財源内訳】 国:4,667,800 市:5,342,200	100%	

## 3 計画に記載した評価指標の目標値の実現状況

評価指標の名称、内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 新川崎駅乗降客数</li> <li>② 歩行環境満足度</li> <li>③ 放置自転車率</li> </ul>
定義及び算定式	<ul style="list-style-type: none"> <li>① JR東日本が年度別に公表する新川崎駅1日平均乗車人員の2倍(人/日) =新川崎駅1日平均乗車人員 × 2</li> <li>② 歩行環境の満足度についてアンケート調査を実施し、歩きやすさ、安全性ともに「満足」又は「ほぼ満足」と回答した方の割合(%) =「1. 満足」「2. ほぼ満足」の回答数 / 全回答数</li> <li>③ 新川崎駅周辺の自転車収容台数に対する放置自転車台数の割合(%) =放置自転車台数 / 新川崎駅周辺の自転車収容台数</li> </ul>

その指標を設定した理由	① 新川崎駅周辺の基盤整備等による居住・就業環境の向上度合いを新川崎駅乗降客数の増加で評価するため。(トレンドと同程度を目指す。) ② 道路整備等の促進の効果を新川崎駅等への歩行環境の満足度により評価するため。(利用者の7割程度が満足する環境を目指す。) ③ 自転車利用環境の向上度合いを放置自転車率の減少で評価するため。(従前値半減を目指す。)			
当初現況値	中間目標値	最終目標値(H26)	実績値(確定・見込)	目標達成状況
①55,978人/日(H20) ②－ ③6%(H21)	①62,000人/日(H24) ②－ ③－	①65,000人/日 ②70% ③3%	①50,972人/日(見込) ②81.3%(見込) ③1%(見込)	①未達成 ②達成 ③達成
目標達成状況に対する所見	① 平成22年3月13日のJR横須賀線武蔵小杉駅の開業による乗換客の移行など外部要因により、目標を達成できなかった。 ② 鹿島田こ線歩道橋の整備による歩行環境の大幅な改善により、指標値が目標を達成した。 ③ 新川崎駅周辺における駐輪場の整備等により、指標値が目標を達成した。			
将来の見込み	① 鹿島田駅西部地区第一種市街地再開発事業の住宅棟・生活利便施設棟の完成により、新川崎駅の乗降客数がさらに増加することが見込まれる。 ② 鹿島田こ線歩道橋等の整備により歩行環境が向上されたことに加え、交通広場整備によりバス空間が拡充され、将来的な新規路線の可能性も見込めることから、新川崎駅へのアクセシビリティがさらに向上することが予想される。 ③ 整備した駐輪場の利用促進に加え、利用者へのマナー啓発等の取組みを強化することで、より自転車利用環境の向上が予想される。			

#### 4 事業効果の発現状況(計画で設定した以外の数値的・定性的な評価指標によるもの)

評価指標の名称、内容	なし
定義及び算定式	－
指標とする理由及び計画において設定した評価指標との関連性	－
評価指標の実績値を含む効果の発現状況	－

#### 5 市民・事業者に対する意見募集・説明・調査の状況

意見募集・説明・調査の内容、手法、実施期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見募集 内容：市のホームページに事業目的、事業概要、事後評価を掲載し、市民から意見を募集。また、区役所等に冊子、意見書(紙)を設置。 手法：意見書の持参及び郵送、FAX、メールなどにより意見を募集。 実施期間：10月1日～10月31日</li> </ul>
意見募集・説明・調査の結果及びそれを踏まえた対応方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>14人の方から意見が寄せられ、道路整備による安全性・快適性の向上、今後の事業への期待等肯定的な意見や商業施設の誘致に関する要望等が見られた。</li> <li>市民意見の把握の結果、事業に関する肯定的な意見が得られ、事業効果があったと言える。今後とも、計画目標である「創造、活力、ゆとり、安心の融合を特色とする都市拠点の形成を図る」を継続していく方針である。</li> </ul>

#### 6 今後の方針等

総合的な所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>指標の達成度 本計画では、評価指標として「新川崎駅乗降客数」、「歩行環境満足度」、「放置自転車率」を設定した。「新川崎駅乗降客数」については、JR横須賀線武蔵小杉駅開業等の外部要因があり、目標達成には至らなかった。一方で「歩行環境満足度」、「放置自転車率」については目標を達成しており、事業の効果が見られた。</li> </ul>
今後の方針 次期計画 あり・なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>新川崎駅周辺地区の道路、公園、駐輪場などの都市基盤整備は概ね完了し、創造、活力、ゆとり、安心が融合した都市拠点の形成が図られているため、次期社会資本総合整備計画の策定は行わない。 なお、一部の道路事業については、さらなる拠点機能強化のため、他の社会資本総合整備計画により実施する。</li> <li>隣接する広域拠点である川崎駅及び武蔵小杉駅周辺地区との連携を強化し、新しい科学・技術や産業を創造する研究開発拠点のさらなる充実を図る。</li> </ul>